



富良野市子どもの読書推進プラン 【第三次計画】

(富良野市 第2期子ども・子育て支援事業計画)

令和2年3月

富良野市教育委員会

目 次

第1章 「富良野市子どもの読書推進プラン（第三次計画）」	
	策定の基本的な考え方― 1
1 子どもの読書活動の意義とその推進の背景	1
2 計画策定の趣旨	1
3 基本理念	1
4 計画の期間及び推進状況の把握	1
5 計画の対象と各期の特徴	1
6 【第二次計画】における成果と課題	2
7 計画の全体構想	2
第2章 子どもの読書活動推進のための方策	
<基本目標1 家庭、地域、学校等を通じた社会全体での子どもの読書活動の推進>	
【推進方策1―1】家庭における読書活動の推進	3
【推進方策1―2】地域における読書活動の推進	3
【推進方策1―3】学校における読書活動の推進	4
<基本目標2 子どもの読書活動を推進するための読書環境の整備>	
【推進方策2―1】地域における読書環境の整備	4
【推進方策2―2】学校等における読書活動の推進	4

第1章 「富良野市子どもの読書推進プラン（第三次計画）」策定の 基本的な考え方

1 子どもの読書活動の意義とその推進の背景

読書活動は、「子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないもの」（「子どもの読書活動の推進に関する法律」第二条）であり、社会全体でその推進を図っていく必要があります。

平成17年に「文字・活字文化振興法」が制定された後、平成19年には「学校教育法」が一部改正され、義務教育の目標に関する規定の中に、「読書に親しみさせ」という文言が新たに盛り込まれました。

こうした中、平成26年には、学校図書館法の一部改正が行われ、学校司書配置が努力義務化され、また、平成28年には文部科学省が「学校図書館ガイドライン」を定めるとともに、平成29年3月に、新しい小学校及び中学校学習指導要領を告示し、学校図書館を計画的に利用しその機能の活用を図り、児童生徒の主体的、対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に生かすことなど、学校図書館に期待される役割を示しました。

さらに、平成29年からは、国の新しい学校図書館整備等5カ年計画がスタートし、図書整備、新聞整備についての地方財政措置が拡充されるとともに、学校司書の配置が新たに計画の中に盛り込まれました。

2 計画策定の趣旨

「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づき、これまでの「第一次計画」及び「第二次計画」を引き継ぐとともに、令和2年度からの5年間を計画期間とし、子どもや子育てを総合的に支援するものとして、「富良野市 第2期子ども・子育て支援事業計画」の施策の一つとして策定します。

3 基本理念

富良野市のすべての子どもが、あらゆる機会とあらゆる場所において、自主的に読書活動を行うことができるよう、家庭・地域・学校等の連携を進め、積極的にその環境整備を図ります。

4 計画の期間及び推進状況の把握

この計画の期間は、令和2年度から令和6年度までの5年間とします。

なお、この計画の推進状況については、「富良野市子ども・子育て会議」に報告し、その意見等を踏まえて、計画の効果的な推進に努めます。

5 計画の対象と各期の特徴

この計画は、0歳からおおむね18歳を対象とします。

また、子どもの読書活動は、発達の段階に応じて取り組むことが重要であることから、この間を大きく4つの期間に分けて、各期における特徴に応じて推進します。

- ・乳幼児期（0歳～6歳）「本に会う」
- ・小学生期（6歳～12歳）「本に親しむ」
- ・中学生期（12歳～15歳）「本から学ぶ」
- ・高校生期（15歳～18歳）「本と生きる」

6 「第二次計画」における成果と課題

(1) 成果

- ・ブックスタート事業をボランティア及び関係機関との連携により、平成23年4月から実施しており、利用者アンケートで高い評価をいただいている。
- ・読書推進ボランティア登録制度を、平成24年度から開始し、定期的に研修会及び視察研修を実施し、ボランティア活動の支援を行っている。
- ・児童生徒への読書についてのアンケート結果で、86.3%の児童生徒が本を読むことが「好き」もしくは「どちらかといえば好き」と回答。（平成26年度調査87.3%）

(2) 課題

- ・保育所・幼稚園保護者への読書アンケート結果で、「市立図書館を月に1回以上利用する」割合が61.5%と低い状況であるため、読書活動の普及及び啓発が必要。
- ・高学年になるほど、読書から離れる傾向にある。

7 計画の全体構想

富良野市子ども読書推進プラン（第三次計画）の全体構想

【基本理念】

富良野市のすべての子どもが自主的に読書活動を行うことができるよう、家庭・地域・学校等の連携を促進し、積極的に環境整備を図ります。

社会全体での子どもの読書活動の推進《基本目標1》

【家庭】子どもの読書習慣の定着に向けた「家読」の取組の推進

読書活動の推進

【地域】学校等の読書活動への支援
読書活動の普及・啓発

読書活動の推進

【学校等】学習活動の充実
読書活動の普及・啓発

読書環境の整備《基本目標2》

【地域】読書環境の整備

資料等の整備

【学校図書館等】設備等の整備
効率的な運営

第2章 子どもの読書活動推進のための方策

基本目標 1

家庭、地域、学校等を通じた社会全体で子どもの読書活動の推進

【推進方策 1-1】家庭における読書活動の推進

・子どもの読書習慣は日常生活を通して形成されることから、読書が生活の中に位置付けられ継続して行われるよう積極的に取り組みます。

このため、読み聞かせをしたり、子どもと一緒に本を読んだりするなど、家族のコミュニケーションを図る「家読（うちどく）」の推進に取り組むとともに、読書に対する興味や関心をもつよう取り組みます。

■ブックスタートアンケート「家庭での読み聞かせ」をしている割合（％）

平成 29 年度	平成 30 年度	令和 6 年度 (目標)
97.8	98.2	100.0

《具体的な取り組み》

- ◇赤ちゃん絵本コーナーの充実
- ◇乳幼児向けおはなし会等の読み聞かせ情報の提供
- ◇読んだ本の書名、読んだ日を記録する読書通帳の普及と活用

【推進方策 1-2】地域における読書活動の推進

・乳幼児期から親子で読書に親しむ習慣づくりに取り組み、子どもの読書活動の意義と重要性などについて、広く市民や保護者への啓発に取り組みます。

また、関係機関やボランティア等と連携・協力しながら、子どもが読書に親しむことができる機会や場所を提供するとともに、子どもにとって身近な読書環境である学校図書館への支援に取り組みます。

■保育所・幼稚園の保護者へのアンケート「月に1回以上図書館を利用している」割合（％）

平成 26 年度	令和元年度	令和 6 年度 (目標)
59.7	61.5	80.0

《具体的な取り組み》

- ◇ブックスタート事業の継続実施
- ◇各種おはなし会（定例、土曜日、えいごのおはなし会）の継続実施
- ◇学校図書館への図書資料貸出の実施及び団体（幼稚園・保育所）貸出の実施
- ◇学校司書との情報共有と連携の推進
- ◇子供向け催しの実施

【推進方策 1－3】学校等における読書活動の推進

・乳幼児期は、絵本の読み聞かせなどをおして新たな世界に興味や関心を広げ、小学生・中学生・高校生期においては、学校図書館における多様な読書活動を工夫して、子どもが多く語彙や多様な表現に触れ、新たな考え方に出会う読書の機会を充実するとともに、学校図書館を計画的に活用し、主体的、対話的で深い学びの実現を図ります。

■児童・生徒へのアンケート「読書はすき・どちらかといえば好き」の割合（％）

平成 26 年度	令和元年度	令和 6 年度 (目標)
87.3	86.3	90.0

《具体的な取り組み》

- ◇「朝読書」など全校一斉の積極的な推進
- ◇読み聞かせ活動の実施
- ◇図書委員等による児童生徒の自主的な読書活動
- ◇保護者、ボランティア、市立図書館等との連携による読書活動の推進
- ◇学校図書館を活用した各教科等における児童生徒の主体的・意欲的な学習活動
- ◇「学校図書館だより」の発行、校内掲示などを活用した読書活動の推進
- ◇道立・市立図書館の学校図書館支援事業の活用
- ◇学校司書配置による学校図書館活用の推進

基本目標 2

子どもの読書活動を推進するための読書環境の整備

【推進方策 2－1】地域における読書環境の整備

・子どもが読みたい本を自由に選び、気軽に利用し、読書の楽しみを知り、本とともに学ぶことができる場所の環境整備を図ります。

《具体的な取り組み》

- ◇図書館資料、読書活動推進の参考となる資料の整備
- ◇インターネットを※活用した資料の検索、予約等の利用促進
- ◇絵本コーナー等、子どもの利用のためのスペースの確保
- ◇本とともに学べる環境づくりの推進
- ◇子どもの読書推進プランのホームページへの掲載等による周知
- ◇読書活動推進に向けた各種研修会の開催

【推進方策 2－2】学校等における読書環境の整備

・児童生徒の読書活動や読書指導、さらには学習活動を支援し、授業の内容を豊かにしてその

理解を深めたりする「学習センター」としての機能を図るとともに、「心の居場所」としての機能を図ります。

《具体的な取り組み》

- ◇学校図書館図書標準を参考にしつつ、学習過程に連動した図書の整備及び新聞の配備
- ◇組織的、計画的な図書資料の選定・廃棄・更新
- ◇公立図書館との連携による資料の相互貸借
- ◇学級文庫や読書コーナーなど、児童生徒が気軽に利用することができる校内読書環境の工夫
- ◇司書教諭の役割等の理解促進、資質向上
- ◇学校司書の配置促進、資質向上

※プラン策定の経過

令和元年7～9月	策定に係るアンケート調査、集計、分析
10月17日	素案策定
11月21日	富良野市校長会で意見募集
11月20日～12月10日	富良野市第2期子ども子育て支援事業計画 パブリックコメント (施策の一つとして掲載)
12月3日	読書推進ボランティアからの意見募集
令和2年1月30日	社会教育委員会で意見募集
3月27日	令和2年第3回 富良野市教育委員会臨時会において第3次計画策定